

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成28年度採択）

実行可能性調査（FS）評価結果（公表用／ハード分野）

番号	FS研究名	研究代表者	評価
28-8	鋼橋の現位置改良工法の開発	（一社）日本橋梁建設協会 部長 大野 豊繁	B

<研究の概要>

本研究は、損傷した鋼橋を現在の位置で供用しながら、維持管理がより容易な新構造へと改良する新しい工法を開発するものであり、その特徴は、既設主構造から新設主構造へと耐荷機能を移行することである。工法の適用性、安全性と実用性を実験と解析で検証する。

<FS評価>

FS研究により成果の見通しを一定程度示すとともに、研究結果を踏まえた研究計画を示していることから、新規研究として採択することが妥当と評価する。なお、実施にあたっては、指摘事項に留意するとともに、対象橋梁と交差する構造物管理者の要求事項等にも配慮して検討項目を設定していただきたい。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 構造特性、維持管理性、施工性、LCCなどを勘案した総合的な有用性について評価する必要がある。
2. 提案された構造の施工性及び施工過程の安全性等についても検討していただきたい。
3. 検討対象の橋梁と交差する構造物（鉄道事業者や河川管理者等）が構造面や施工面で求める要求事項にも配慮して研究開発を進める必要がある。
4. 維持管理の容易性に関する検討を行う必要がある。
5. FSでの検討結果を踏まえ、実験・解析で検証が必要な項目と、その具体的な方法について明確に示していただきたい。

※本FS評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第31回新道路技術会議において審議したものである。